

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成24年5月24日(2012.5.24)

【公表番号】特表2011-520917(P2011-520917A)

【公表日】平成23年7月21日(2011.7.21)

【年通号数】公開・登録公報2011-029

【出願番号】特願2011-509781(P2011-509781)

【国際特許分類】

A 61 K 38/22 (2006.01)

A 61 P 9/04 (2006.01)

【F I】

A 61 K 37/24

A 61 P 9/04 Z N A

【手続補正書】

【提出日】平成24年3月27日(2012.3.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

心不全を治療するための医薬の製造における医薬的に活性なリラキシンの使用であって、前記心不全の治療は、代償不全の頻度もしくは期間を減らすおよび／または心不全による死亡リスクを減らすのに治療上有効な量で、ニューヨーク心臓協会(NYHA)による心不全分類でクラスIIまたはクラスIIIの心不全を有するヒト被験体へリラキシンを投与することを含む、前記使用。

【請求項2】

上記被験体が、約85mmHg以上の収縮期血圧を有する、請求項1に記載の使用。

【請求項3】

上記投与によって、全身血管抵抗、肺毛細管楔入圧、肺血管抵抗、血中尿素窒素、クレアチニンおよび循環N末端プロホルモン脳性ナトリウム利尿ペプチドのうちの1つ以上をさらに低下させる、請求項1に記載の使用。

【請求項4】

上記被験体が、急性心不全のための入院を必要としない、請求項1に記載の使用。

【請求項5】

機能的能力を改善するための医薬の製造における医薬的に活性なリラキシンの使用であって、前記機能的能力の改善は、機能的能力を改善するのに治療上有効な量でニューヨーク心臓協会(NYHA)による心不全分類でクラスIIまたはクラスIVの心不全を有するヒト被験体へリラキシンを投与することを含む、前記使用。

【請求項6】

心不全を治療するための医薬の製造における医薬的に活性なリラキシンの使用であって、前記心不全の治療は、併用される慢性心不全薬の使用を減らすのに治療上有効な量でヒト被験体へリラキシンを投与することを含み、

ここで、前記併用される医薬は、抗血小板薬、遮断薬、利尿薬および抗アンジオテンシン療法のうちの1つ以上を含むものである、前記使用。

【請求項7】

上記被験体が、ニューヨーク心臓協会(NYHA)による心不全分類でクラスIIまた

はクラスⅠⅡⅢの心不全を有する、請求項6に記載の使用。

【請求項8】

上記投与によって、全身血管抵抗、肺毛細管楔入圧、肺血管抵抗、血中尿素窒素、クレアチニンおよび循環N末端プロホルモン脳性ナトリウム利尿ペプチドのうちの1つ以上をさらに低下させる、請求項6に記載の使用。

【請求項9】

心不全を治療するための医薬の製造における医薬的に活性なリラキシンの使用であって、前記心不全の治療は、約2.5L/分/m²未満の心係数を有する被験体の心係数を増加させるのに治療上有効な量でヒト被験体へリラキシンを投与することを含む、前記使用。

【請求項10】

前記被験体が、急性心不全のための入院を必要としていない、請求項9に記載の使用。